令和4年度 第4回定例農業委員会総会議事録

1. 招集の別 農業委員会等に関する法律27条第1項による
2. 日 時 令和4年7月8日 午後1時30分
3. 場 所 農業研修センター「ろくじ館」
4. 議 題 議案第14号 農地法第3条許可申請書審議について
議案第15号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について
(諮問)
議案第16号 熊本地震に伴う地籍再調査事業実施区域(大字田口地区の一部)
の農地の地目変更について(照会)
5. その他 【報告事項】非農地証明願いについて
6. 出席委員
農業委員
1番 境 栄一郎 2番 長野 和代 3番 清住 昇
4番 松本 茂 5番 伊豆野 誠 6番 五嶋 靖
7番 岡本 篤幸 8番 平井 豪 9番 草場竜一郎
10番 本田 廣正 11番 中村 幸信 12番 河嶋 隆雄
13番 緒方 寛二 14番 中村 節美
農地利用最適化推進委員
西村 孝生 外村 和彦 松永 博文 坂本 導成 松野 文男
上村 敦之
7. 欠席委員
農業委員
なし
農地利用最適化推進委員
西村 盛一、田上 安幸、井芹 康雄、伊佐 浩二
8. 議事録署名人
8番 平井 豪

9. 本会議に職務のため出席したものの職氏名

事務局長 井上 幸介

事務局職員 河原 俊典 川端 勵志 今村 優香

会 議

1. 開 会

事務局長 皆様、こんにちは。それでは、定刻になりましたので、総会を始めたいと思います。

まずは総会の成立要件を申し上げます。本日の出席委員は13名でございます。甲佐町農業委員会会議規則第6条の規定を満たしますので、総会は成立することを御報告いたします。

それでは、ただいまから令和4年度第4回定例農業委員会総会を始めさせていただきます。

2. 会長あいさつ

事務局長 まず、会長に御挨拶をお願いいたします。

会 長 皆さん、こんにちは。梅雨明け来、連日猛暑が続いております。皆さん、農作業をされる場合は、水分補給をして熱中症にはくれぐれも注意しながら、農作業に励んでいただきたいと思います。

さらに、コロナのほうもまた県内非常に活発になっております。ここ二、三日、連日1,500人を超えるようなコロナ感染者が出ております。お互いにコロナだけに十分注意をしながら、また作業を進めていきたいと思っております。

本日は、3条関係、それから基盤強化法の関係、それに地籍調査の関係、議題を用意しております。皆さん方の真摯な議論をお願いしながら、簡単ではありますが挨拶といたします。

事務局長 ありがとうございます。

3. 議事録署名委員の指名

事務局長 それでは、議事録署名委員の指名をお願いいたします。

会 長 本日は、8番委員の平井委員と、それから9番委員の草場委員をお願いいたします。

4. 議 題

事務局長 それでは、議事に入りたいと思っております。

議事の進行につきましては、会議規則第4条の規定に基づき会長をお願いいたします。

- 会 長 それでは、早速、議案審議に入ります。
議案第14号、農地法第3条許可申請書審議についてを議題とします。
それでは、説明を事務局長からお願いします。
- 事務局長 それでは、1ページをお願いいたします。
議案第14号、農地法第3条許可申請書審議について、農地法第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり許可申請があったので、許可の決定について意見を求めるものでございます。
令和4年7月8日提出、甲佐町農業委員会会長名です。
以上です。
- 会 長 それでは、審議に入りたいと思います。2ページをお願いします。
番号1番について、4番委員の松本委員から説明をお願いします。
- 4番 4番委員の松本です。では、説明いたします。
(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)
以上です。
- 会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。
事務局 それでは説明いたします。3ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明します。
まず、こちらが県道今吉野甲佐線です。こちらが町道船津上早川線です。申請地は県道今吉野甲佐線と町道船津上早川線の交差点から西に約340メートル、世持の尾ノ上に1筆と、同じく交差点から南に約630メートル、世持の木風迫に1筆あります。
場所の説明は以上です。
- 会 長 続きまして、4番委員の松本委員から農地の耕作賃借権設定(10年)について、農地法上問題がないかを説明をお願いします。
- 4番 4番委員の松本です。今回の申請は、申請人が相手方に農地の管理について相談され、了承を得られたので今回の申請となりました。
それでは、申請された内容を農地法に照らし問題がないか説明します。
①については、取得後において全ての農地を効率的に利用されると思われます。
②、③については該当しません。
④については、本人の従事日数は150日程度であり、取得後の農地を適正に管理することに何ら問題はないと思われます。
⑤については、取得後の耕作面積が5,857平米で、下限面積をクリアします。
⑥については該当しません。
⑦については問題ないと思います。

以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。5番委員の伊豆野委員から説明をお願いします。

○5番 5番委員の伊豆野です。

先月の6月30日に会長、五嶋委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている土地は、大字世持字尾ノ上と木風迫にある畑2筆です。申請地には栗の栽培を計画されており、周辺の営農に支障を来すおそれはないことを報告します。

以上です。

会 長 ただいま5番の伊豆野委員から現地調査の報告、また、4番の松本委員から、農地法第3条第2項の各号いずれにも該当しないと説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。何かございませんか。意見はないようでございます。

それでは採決を行います。

許可することに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めます。

番号1については、原案どおり許可することに決定いたします。

続きまして、番号2番について審議したいと思います。

番号2番について、13番委員の緒方委員から説明をお願いします。

○13番 13番委員の緒方です。では説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

以上です。

会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。

事務局 それでは説明いたします。4ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明します。

まず、こちらが国道443号線です。こちらが九州ネットワークケーブルさん、こちらに白簾グラウンドがあります。申請地は九州ネットワークケーブルさんから南に約160メートル、糸田の夫ノ田にあります。

場所の説明は以上です。

会 長 続きまして、13番委員の緒方委員から、農地所の有権移転（有償）について、農地法上問題がないかを説明をお願いします。

○13番 13番委員の緒方です。申請人が相手方に農地の売買について相談され、了承を得られたので今回の申請となりました。

それでは、申請された内容を農地法に照らし問題がないか説明します。

1については、取得後において全ての農地を効率的に利用されると思われま

2については該当しません。

3についても該当しません。

4については、トラクター等を所有しており、本人の従事日数も320日程度であり、取得後の農地を適正に管理することに何ら問題ないと思われま

5については、取得後の耕作面積が9,625平米で、下限面積をクリアしま

6については該当しません。

7については問題ないと思われま

以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。6番委員の五嶋委員から説明をお願いします。

○6番 6番委員の五嶋です。

先月の6月30日に会長、伊豆野委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている農地は、大字糸田字夫ノ田にある田1筆です。

申請地には米、キャベツ、ジャガイモの栽培を計画されており、周辺の営農に支障を来すおそれのないことを報告いたします。

以上です。

会 長 ただいま6番委員の五嶋委員から現地調査の報告、また、13番委員の緒方委員から、農地法第3条第2項の各号いずれにも該当しないと説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。意見ございませんか。意見もないようでございます。

それでは採決を行います。

許可することに賛成する方は挙手願います。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めま

番号2番については、原案どおり許可することに決定をいたしま

続きまして、番号3番、番号4番は、譲受人が同一なので一緒に審議したいと思います。

12番委員の河嶋委員から説明をお願いします。

○12番 12番委員の河嶋です。では説明しま

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

以上です。

会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。

事務局 それでは説明いたします。5ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明しま

まず、こちらが国道443号線です。こちらが県道稲生野甲佐線で、こちらに甲佐中学校がございます。申請地は甲佐中学校から南西に約280メートル、中横田の立神に2筆あります。

場所の説明は以上です。

会 長 続きます、12番の河嶋委員から、農地の所有権移転（有償）について、農地法上問題がないか説明をお願いします。

○12番 12番委員の河嶋です。今回の申請は、相手方が申請土地に農業用倉庫を建設するための所有権移転（有償）の案件です。

それでは、申請された内容を農地法に照らし問題がないか説明します。

1については、取得後において全ての農地を有効的に利用されると思われま

2については該当しません。

3についても該当しません。

4については、本人の従事日数は150日程度であり、取得後の農地を適正に管理することに何ら問題ないと思われま

5については、取得後の耕作面積が1万4,805平米で、下限面積をクリアしま

6については該当しません。

7については問題ないと思われま

以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。6番委員の五嶋委員から説明をお願いします。

○6番 6番委員の五嶋です。

先月の6月30日に会長、伊豆野委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている農地は大字中横田字立神にある田2筆です。

申請地には農業用倉庫を建設予定で、残地には野菜を作付予定です。周辺の営農に支障を来すおそれのないことを報告しま

以上です。

会 長 ここで事務局から補足があります。事務局、お願いいたします。

事務局 まず、農地に農業用施設を建てる場合、通常であれば転用申請が必要になりますが、農業用施設の面積が200平米未満の場合は、転用の特例として農業委員会への許可不要転用届だけで、転用の申請は不要となります。

また、現地写真を御覧になられたら分かるように、申請土地は既に農業用倉庫建設に向けての準備が進められており、現況は農地ではなくなっています。このことについては、事前着工に対する始末書が提出されていることを報告いたしま

事務局からは以上です。

会 長 ただいま事務局からの報告を受けて、ただいま6番委員の五嶋委員、事務局から現地調査の報告、また、12番員の河嶋委員から農地法第3条第2項の各号いずれに

も該当しないと説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。どうぞ。

○1番 農業用以外だったら、200平米以下だったら、許可は要らないという話なんですよ。その場合、1筆当たり、それとも合計が200平米以下の場合。

事務局長 基本的にその上物、箱物の建て床面積が200平米未満の場合は、許可不要の届でオーケーです。それを超えた場合には、農地法上の5条とか4条……。

○1番 1筆とか2筆とか関係ない。

事務局長 関係ないです。

会 長 よろしいですか。ほかに何か御意見ございませんか。

それでは、ほかには意見はないようでございます。

それでは採決を行います。

許可することに賛成する方は挙手願います。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めます。

番号3番、4番については、原案どおり許可することに決定いたします。

続きまして、番号5番から番号8番については相手方、譲受人が同一のため、一緒に審議したいと思います。

6番委員の五嶋委員から説明をお願いします。

○6番 6番委員の五嶋です。では、説明いたします。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

以上です。

会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。

事務局 それでは説明いたします。6ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明します。

まず、こちらが竜野川です。こちらが県道稲生野甲佐線で、こちらに野乃家さんがあります。申請地は野乃家さんのすぐ北にまず2筆と、野乃家さんの南、約330メートルのところに9筆固まっています。

場所の説明は以上です。

会 長 続きまして、6番委員の五嶋委員から、農地の所有権移転(有償)について、農地法上問題がないか説明をお願いします。

○6番 6番委員の五嶋です。今回の申請は、申請人が相手方に農地の管理について相談され、了承を得られたので今回の申請となりました。

それでは、申請された内容を農地法に照らし問題がないか説明します。

①については、取得後において全ての農地を効率的に利用されると思われます。

②については該当しません。

③についても該当しません。

④については、トラクター等を所有しており、本人の従事日数も150日程度であり、取得後の農地を適正に管理することに何ら問題ないと思われま

す。⑤については、取得後の耕作面積は6,196平米で、下限面積をクリアします。

⑥については該当しません。

⑦については問題ないと思われま

す。以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。5番の伊豆野委員から説明をお願いします。

○5番 5番委員の伊豆野です。

先月の6月30日に会長、五嶋委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている農地は、大字上早川にある田10筆と畑1筆です。

申請地には米、梅の栽培を計画されており、周辺の営農に支障を来すおそれのないことを報告します。

以上です。

会 長 ただいま5番の伊豆野委員から現地調査の報告、また、6番委員の五嶋委員から、農地法第3条第2項各号いずれにも該当しないと説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。

本田委員、どうぞ。

○10番 まず、耕作面積はゼロゼロですよ。新規就農の方だから所有権移転できるんですか。基本的には自分で持ってて、持ってる人じゃないと所有権移転できなかったわけですけども、ゼロゼロで移動できるんですかって話。

会 長 事務局、どうぞ。

事務局 今回新規就農ということで、今現在、農地はお持ちではないんですけども、今回取得する面積が6,000平米ちょっとということで、取得後は5反要件をクリアするので、農地は取得可能です。

○10番 新規就農者だからできる、一般の人はできないですよ。

事務局 一般の人でもできます。

○10番 ゼロの人ですよ。

事務局 できます。

○10番 できる。

事務局 取得後が5反を超えればオーケーです。

○10番 取得後に。

事務局 はい。

○11番 借りた場合はどがんなる。

事務局長 借りてもオーケーです。

○10番 普通は借りて5反以上になるようなやり方をするんですけども、じゃあこの方はたまたまトータルが6反あったからできたということですか。

事務局長 そうですね。

○10番 買い求めて。

事務局長 仮に今回が購入とか借り入れ合わせて、例えば4反だったということであれば駄目です。

○10番 普通は買うときに、例えば自分がこれだけ持ってるから、これだけ変えることができるというふうになるんだけど、今回ゼロゼロだったから何でっていう話をしたかったんです。

会 長 今、事務局長の説明ですが、本田委員、よろしいですか。

推進委員 ちょっとよかですか。ゼロゼロで150日従事しとんなるというのはどやんこつですか。

事務局 しているというわけじゃなくて、これからしていく予定ということで。

推進委員 どぎやんでんよかっていうことやんな、そら。もう。

事務局 この方は5年前から、熊本市内の農園に農業見習みみたいな形で研修に行かれてて、一応農業の経験はあられる方です。

○10番 だからトラクターがあると言われたけど、じゃあ農業経験のためにこの人は自分でトラクターを買ったのということなんですよ。今始めとったら、今からそういうものを買おうとしてるはずですけど、現に持っているはずはないんですね。ゼロゼロ、農作業用に。

事務局 トラクターは1台所有ということで聞いております。

○10番 何のために、ゼロゼロなのに。ゼロゼロで何でトラクターが要るの。どこで使ったのっていう話。

○11番 だから前もって土地を持つとる人が買うのか。

事務局 それはここで決めることじゃなくて、法律上それがオーケーなので、そこは論点にはならないかと。あくまでも取得後の面積が5反以上あればオーケーというのが法律上決まっています。ただ、それも農地法の改正で下限面積というのが、この間ちょっと研修とか行かれて聞かれたと思いますけれども、下限面積の撤廃とかが今言われていますので、それがちょっとどうなるのかというのは未定ですけれども、あくまでこの5反というのは法律上の要件になりますので。

○11番 だけ、最初5反持つとう人ではないと土地は買われんていうことを言われておったけど。

事務局 それは多分、間違った認識をされていると思いますので、取得後の面積が5反というのが農地法上の要件になります。

○11番 事務局長 会 長

だからさっき言った借りた場合は、
もちろんオーケーです。
ほかに何かございませんか。はい、どうぞ。

○1番 事務局長

今、住まわれているのは、この住所で間違いないですか。
はい。

○1番 事務局長

この住所でこの農地を管理される……。この農地は、小さいのから大きいのがたくさんあるんですけど、6反ぐらいで150日で生活されるということなんですけど、その点は、兼業なんですか、何かと。
兼業農家です。この方は自営業をされていて兼業で今回農業を始められる方です。境委員、よろしいですか。

○1番 会 長

はい。
ほかに何かございませんか。
ほかにはそれでは意見はないようでございますので、採決を行います。
許可することに賛成の方は挙手願います。
(賛成者挙手)
全員賛成と認めます。
番号5番から8番までについては、原案どおり許可することに決定をいたします。
続きまして、議案第15号、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定についてを議題といたします。事務局長から説明をお願いします。

事務局長

それでは、7ページをお願いいたします。議案第15号、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について。
農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について別紙のとおり諮問があったので意見を求めるものでございます。
令和4年7月8日提出、甲佐町農業委員会会長名です。
次のページをお願いいたします。
甲農第641号、令和4年6月27日、甲佐町農業委員会会長、岡本篤幸様。甲佐町長奥名克美。
農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による決定について（諮問）。
農業経営基盤強化促進法第3条に基づく農用地利用集積計画について、同法第18条第2項及び甲佐町農業経営基盤強化促進事業実施方針により農用地利用集積計画を定めたいので、同法第18条第1項の規定により諮問します。
次の9ページをお願いいたします。農用地利用集積計画総括表、令和4年度第4回です。まずは総括表で説明いたします。
賃借権の再設定について、10年の田が3筆の4,579平米のみとなります。
賃借権の新規について、10年の田が3筆の1,514平米、10年の畑が7筆の6,376.41

平米、賃借権の小計は、田が6筆の6,093平米、畑が7筆の6,376.41平米となります。

使用賃借権の再設定はございません。

使用賃借権の新規について、5年の畑が11筆の2万956平米、10年の田が5筆の6,909平米、10年の畑が10筆の3,175平米、使用賃借権の小計が、田が5筆の6,909平米、畑が21筆の2万4,131平米となります。

このため利用権設定の合計は、田が11筆の1万3,002平米、畑が28筆の3万507.41平米となります。

所有権移転についてはございません。

委員の皆様には審議していただきますのは新規の案件となります。詳細は事務局から説明いたします。

以上です。

会 長 それでは、10ページを開いてください。

議案第15号、農業経営基盤強化促進法の規定による農地利用集積計画についてを審議します。

番号1番について、この案件の相手方、譲受人は5番委員の伊豆野委員です。農業委員会等に関する法律第31条、甲佐町農業委員会会議規則第11条の参与の制限に該当しますので、審議が終わるまで退席をお願いします。

(伊豆野委員退出)

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局 説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。

まず、こちらが県道三本松甲佐線です。こちらに甲佐神社がございます。申請地は甲佐神社から西に約335メートル、上揚の山下に1筆と、同じく甲佐神社から東に220メートル、上揚の宮上に1筆あります。

次に、相手方の状況について説明いたします。

番号1番の相手方は、上揚、大町集落の認定農業者として農業を頑張っておられ、主に米、野菜の作付をされています。今回の申請地には米の栽培を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われれます。

すみません。1番の相手方、認定農業者ではなく、認定新規就農者の誤りです。すみません、訂正いたします。

事務局からの説明は以上です。

会 長 ただいま事務局から説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手を願います。何か御意見ございま

せんか。

質問はないようでございます。

それでは、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めます。

番号1番については原案のとおり承認をいたします。

伊豆野委員の入室を認めます。

(伊豆野委員入室)

続きまして、番号2番について審議したいと思います。

事務局から説明をお願いします。

事務局

説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

次に、申請地の位置の説明をいたします。13ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明します。

まず、こちらが国道443号線です。こちらに悠星会館がございます。申請地は筆数が多いので簡単に説明させていただきます。上早川に5筆と、下横田に10筆、申請地が存在しております。

続きまして、相手方の状況について説明いたします。

相手方は下横田集落で認定農業者として農業を頑張っておられ、主に米、飼料作物を栽培されています。申請地には米、野菜の作付を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われま。

事務局からの説明は以上です。

会 長

ただいま事務局から説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。

○11番

申請人の福永由美子さんの耕作面積、1町2反と、譲受人のほうで2町ぐらいいかな、あと2反分のこれは農業者年金のほうのあれと関わりはなかですかね、残った分と。

会 長

事務局、説明をお願いします。

事務局

この方が農業者経営移譲年金を受給されたときに、後継者の方に経営移譲した面積が今回の申請で上がっている1万84平米で……。

○11番

それはこの息子さんが譲り受けたときです。私が言いよるのは、この分は年金をもらう人も残っても、その分は財産のあれになるとかなと思ったけね。そこを聞きたかったんです。農業者年金をもらうでしょうが、そのための息子さんの贈与というか移転でしょう。残った土地はどうなるのか、関係ないのか、年金に対しては。

ゼロにせんでも年金はそのまま払われるのか。

事務局長 経営移譲するときに全部じゃなくて、ちょっとすみません、私、うろ覚えで申し訳ないです。一応、留保分とって、例えば自分で作って自給用にするための留保分というのが何割かで認められる……、恐らくその面積だと思います。一番最初は年金の設定のときに。

○11番 それにも税金はかかってくるど、ちゃんと払えば。

会 長 事務局、そこのところちょっと……。

○11番 ちょっと分かるごと説明してもらおうと思います。

事務局 お調べしてご報告いたします。

会 長 ほかに何かございませんか。

それでは、ほかには意見はないようでございます。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めます。

それでは、番号2番については原案のとおり承認をいたします。

続きまして、番号3番について審議したいと思います。

事務局から説明をお願いします。

事務局 説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

次に、申請地の位置の説明をいたします。14ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明します。

まず、こちらが県道今吉野甲佐線で、こちらは町道船津上早川線です。申請地は世持の尾の上に2筆と、森本に2筆と、道免に2筆あります。

続きまして、相手方の状況について説明します。

相手方は中横田集落で農業を頑張っておられ、主にニラを栽培されています。今回の申請地には栗の栽培を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われます。

以上で説明を終わります。

会 長 ただいま事務局から説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。

○2番 その栗ですけど、これを引き続きされるんですかね。それとも植え替えとか、どうなるんですか。さっきもそれがあつたけど、それは分かん。

事務局 これは引き続き栗をされると聞いております。

会 長 ほかに何か御質問はございませんか。

○12番 借受けの単価が3,646、この数字はどこから来た数字ですかね。
会 長 事務局、分かりますかね。どうぞ。
事務局 これは6筆合わせて2万円ということで契約してあったので、それを平米数で割
って、このような中途半端な数字になっています。

会 長 河嶋委員、よろしいですか。
○12番 はい。
会 長 そのほかに何か御質問はありませんか。
それでは、ほかにはないようです。
原案どおり決定することに賛成の方は挙手を願います。
(賛成者挙手)
全員賛成と認めます。
番号3番については、原案のとおり承認をいたします。
続きまして、11ページをお願いします。
番号4番について審議したいと思います。この案件は熊本県農業公社を通しての
貸借です。
事務局から説明をお願いします。
事務局 説明いたします。
(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み
上げ)
続きまして、申請地の位置の説明をいたします。15ページに地図を添付してあり
ますが、前のスクリーンで説明いたします。
まず、こちらが乙女橋で、こちらが県道嘉島甲佐線、こちらに白旗小学校がござ
います。申請地は白旗小学校から南東に約515メートル、糸田の十年にあります。
次に、相手方の状況について説明いたします。
番号4番の相手方は糸田集落の認定農業者として農業を頑張っておられ、主に米、
麦、大豆の作付をされています。今回の申請地にも米、麦、大豆の作付を計画され
ており、集積後は効率よく利用できると思われれます。
以上で説明を終わります。

会 長 ただいま事務局から説明がありました。
これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。
質問はないようでございます。
それでは、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。
(賛成者挙手)
全員賛成と認めます。
それでは、番号4番については原案のとおり承認いたします。

続きまして、番号5番について審議したいと思います。この案件は熊本県農業公社を通しての貸借です。

事務局

事務局から説明をお願いします。

説明いたします。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

次に、申請地の位置の説明をいたします。16ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明します。

まず、こちらが国道443号線で、こちらが安津橋で県道今吉野甲佐線です。こちらに星の川団地がございます。申請地は星の川団地から南西に約620メートル、船津の上川原に1筆あります。

続きまして、相手方の状況について説明します。

相手方は仁田子、船津集落で認定農業者として農業を頑張っておられ、主に酪農をされています。申請地には飼料作物の作付を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われま

す。

会長

ただいま事務局から説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。

質問はないようでございます。

それでは、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めます。

それでは、番号5番については原案のとおり承認をいたします。

続きまして、番号6番から番号12番は相手方が同一なので一緒に審議したいと思います。この案件は熊本県農業公社を通しての貸借です。

事務局から説明をお願いします。

事務局

説明いたします。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。17ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。

まず、こちらが国道443号線です。こちらが町道岩下益城橋線で、こちらが甲佐町役場で、こちらにスーパーのロッキーさんがあります。申請地は全部仁田子にありまして、仁田子の原ノ前に2筆、土中に6筆と道中に3筆ございます。

次に、相手方の状況について説明いたします。

番号6番から番号12番の相手方は仁田子、船津集落で認定農業者として農業を頑張っておられ、主に酪農をされています。申請地には飼料用米の作付を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われま。

以上で説明を終わります。

事務局長 飼料作物じゃない、飼料用米じゃなくて飼料作物。

事務局 すみません、飼料作物です。

会 長 ただいま事務局から、番号6番から12番について説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。本田委員、どうぞ。

○10番 合計金額は5番と一緒になると思うんですけど、金額の差は何でしょう。

○12番 使用だからゼロ円でしょ。

○10番 いやいや、だって同じでしょう。だから、5番をここの一番下に持ってきてるんじゃないでしょうか。

事務局長 数字の間違いと思う。

○10番 上の金額と一緒にならんといかんと思うんですけど、どっちが間違いか……。

事務局 2,667が正しいです。

○10番 下の合計が違うということですね。

事務局 合計の欄が2,267のところを2,667に訂正お願いします。

会 長 よろしいですか、訂正、2,667だそうです。

○10番 合計が2,667ということですね。

事務局 すみません。

会 長 ほかに何か御意見ございませんか。中村委員。

○11番 この期間借地というのは、私、初めて聞いたばってんが、参考のために11月から4月までの5ヶ月ですかね、どれくらいの金額が発生するのか。

事務局 今回は使用貸借権ですので、ただということです。裏作の間、農地が空くけん、その分、空いとる間ということです。ということで、飼料作物、たぶんイタリアンか何かを植えられるだろうと思います。

○11番 じゃあ、やっぱ普通のところでも、そういった方法で借りても、ただってこと。

事務局 そこは話し合い次第ですので、全部がただというわけでは。

○10番 法人時代にそれやったんです。そうして大豆だけ植えて、冬は要するに米の苗作りをするから使わないということで、夏場だけ借りるといふのがあるんです。それは半分払うとかね、それは交渉次第です。

会 長 ほかに何か御意見ございませんか。

それでは、ほかには質問はないようでございます。

それでは、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めます。

それでは、番号6番から番号12番までについては原案のとおり承認をいたします。

続きまして、議案第16号、熊本地震に伴う地籍再調査事業実施区域（大字田口地区の一部）の農地の地目変更について（照会）についてを議題といたします。

事務局長から説明をお願いします。

事務局長

それでは、18ページをお願いいたします。

議案第16号、熊本地震に伴う地籍再調査事業実施区域（大字田口地区の一部）の農地の地目変更について（照会）。

熊本地震に伴う地籍再調査事業実施区域（大字田口地区の一部）の農地の地目変更について、別紙のとおり照会があったので意見を求めるものでございます。

令和4年7月8日提出、甲佐町農業委員会会長名です。

次のページをお願いいたします。

甲税第296号、令和4年5月30日、甲佐町農業委員会会長様。甲佐町長奥名克美。

熊本地震に伴う地籍再調査事業実施区域（大字田口地区の一部）の農地の地目変更について（照会）。このことについて、別紙調書のとおり地目を変更しても支障がないかお伺いします。

今回の照会のあった農地は、熊本地震による地籍調査の再調査のときに畑との判断でございましたけれども、調査結果の閲覧、ここで行われておりますが、閲覧のときに所有者から周囲の状況及び現況により地目を山林に変更してほしいと申出がございました。それに伴います今回の照会ということでございます。

以上でございます。

会 長

ありがとうございました。

それでは、20ページをお願いします。

議案第16号、熊本地震に伴う地籍再調査事業実施地区（大字田口地区の一部）の農地の地目変更について（照会）を審議したいと思います。

事務局から位置の説明をお願いします。

事務局

御説明申し上げます。

地図につきましては、21ページと22ページに載せておりますが、前のスクリーンのほうで御説明申し上げたいと思います。

今回の照会になったのは、真ん中の上の赤く示しているところでございます。上のほうから真ん中、県道の御船甲佐線がこのように通りまして、県道今吉野甲佐線、鉄筋団地、こちらに森川健康堂さんの研究所がございまして。このすぐ近くに今回、照会になった土地がございまして。

場所については以上でございます。

会 長

現地調査を行っております。6番委員の五嶋委員から可否の判定について説明を

お願いします。

- 6番 6番委員の五嶋です。
先月の6月30日に会長、伊豆野委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。
対象地は、大字田口地区内にある農地1筆で登記地目は畑です。現地調査の結果、周囲の状況及び現状から見て、山林に変更しても支障はないと判断いたしました。
以上、報告いたします。
- 会 長 ありがとうございます。ただいま6番委員の五嶋委員から現地調査の報告、照会に係る可否の判断について説明がありました。
質疑に入ります。発言のある方は挙手をお願いいたします。
本田委員、どうぞ。
- 10番 これ、半年ぐらい前に調査したときには対象外だったんですよ。
会 長 事務局、どうぞ。
事務局 今回の照会の場所は、前回の対象外となっております。
- 10番 いっしょの所に池があるんですけど、今、どぶみたいになっている池が、その目の前のはずですね。この上の段に畑があって、ここは崖なんですよ、畑とは言えない場所です。
事務局 ただ、1年以上前に現地調査をして、調査をやられたときには、まだ畑として使えるという判断をされたと聞いております。
- 10番 崖ですよ。だから、この前の判断がね、どうだったろうかという……。結局、異論はないんですけど、この上にもう2筆あるんですよ。広いのがある前に。
事務局 22ページに地籍調査図をお示ししております。
- 10番 あと2筆ありますね。2筆上に広い畑があるんです。この上のグリーンのところはこれどうなったんですか。
事務局 それは緑で囲んでいるところは、山という地目……。
- 10番 やっぱこれ崖だからね。
事務局 黄色は墓地、あとは畑……。
- 10番 だから、これ切れたという可能性もあるわけね。だって、上の段が山であって、下の段の道の横の崖のところは山じゃないというのもおかしい。
事務局 それは地籍調査をされたとき、そういう判断であったということで、今回照会はこの部分が改めて地権者の方から変更してほしいという要望があったので、税務課からまた農業委員会に照会があった。
- 10番 前はじゃあ税務課はチェックしてなかったということね。だって、私は現地の人間ですから、上が山で、何で下のこの所が畑なのという感覚、基本的には。そういう場所ですよというのを知ってほしいんですよということです。
事務局 今、本田委員がおっしゃられるとおり、現地の調査に言ったときの写真がごさい

ますけども、おっしゃるとおりの状況です。今はですね。

○10番 ずっとです。地元の間人として言う訳で、ずっとです。

会 長 本田委員、今の説明でよろしいですか。

○10番 はい、いいですよ。

会 長 ほかに何か御意見ございませんか。

○11番 この地目の変更ですね、畑が山林になるというのは、周りにそういった山林がないと地目変更できないのか。だけん、やはりいろいろ中山間地区は周りにいろいろ山とかあるけん、そうゆう所に引っ付いている土地は地目変更で山林にしてほしい人もおらすとですよ。

事務局長 今回の場合は、地籍調査ということで、地籍調査であれば現況の地目を変えると。そこで調査をして、縦覧期間があつて、そこで縦覧期間が終わつて異議申立てがなければ、そのまま地目は変える、囑託で変える。

○11番 個人の申請というか、言つてもできない……。

事務局長 それはできないです。あくまで個人でいうのであれば、現況が山であるならば、そこは現況が山ですよということで、農業委員会で転用ばする。転用か非農地か、いずれか。

○5番 非農地を復旧できるんやったら、非農地にならんわけですか。

事務局長 ならないです。

会 長 よろしいですか。ほかに何かございませんか。

ほかにはないようですので、それでは採決を行います。

五嶋委員の報告のとおり、回答することに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

全員賛成と認めます。それでは、議案第16号につきましては、当農業委員会としましては報告のとおり支障なしと回答いたします。

それでは、本日用意いたしました議案は14号から16号まで全て終了いたしました。

それでは、(4)のその他、報告事項についてを報告いたします。

それでは、その他、報告事項、非農地証明願の可否の判断についての報告ですが、事務局長より説明をお願いします。

事務局長 それでは、23ページをお願いいたします。

非農地証明願について、農地法第2条第1項の規定に基づき非農地証明願がございましたので、農地管理部会により現地調査の上、農地に該当するか否か判断をされましたので報告をしていただくものです。

以上です。

会 長 まず、事務局から申請地の位置の説明をお願いします。

事務局 御説明申し上げたいと思います。

地図につきましては、24ページに載せておりますけれども、前のスクリーンのほうで御説明申し上げたいと思います。

右側、こちらが安津橋、星の川団地、そして県道今吉野甲佐線を上っていきまして、船津迫集落がこちらにございます。迫集落の中のこの赤い印をつけたところ、こちらが今回非農地証明願が出された場所でございます。

場所については以上でございます。

会 長 それでは、現地の状況について、非農地の判断に係る可否の判定について、農地管理部会長で8番委員の平井委員から説明をお願いします。

○8番 8番委員の平井です。それでは説明します。

今回の非農地証明願は、所有者から農地として復元することが困難で復元しても継続して利用することができないため、非農地証明書の交付を申請されたものです。

先月の6月30日に会長、農地管理部会の草場委員、五嶋委員、境委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。申請地は大字船津字馬門にある農地1筆で、農地の状況としては、農地全体が斜面に位置し機械での作業もできず、長年耕作や管理がなされていない荒廃した状況です。

このことにより、今回申請の土地の状況を非農地証明基準に照らし合わせた結果、非農地証明基準の3番、荒廃農地のうち農地として利用するには一定水準以上の物理的条件整備が必要な土地（人力または農業用機械では耕起・整地ができない土地）であって、農業の利用を図るための条件整備（基盤整備事業の実施等）が計画されていない土地で、イのその土地の周囲の状況から見て、その土地を復元しても継続して利用することができないと見込まれる場合に該当すると思われ、農地法第2条第1項の規定にある農地に該当しないと判断いたしました。

以上で報告を終わります。

会 長 ただいま農地管理部会長で8番委員の平井委員から、現地の状況の報告、また、非農地の判断に係る可否の判断について、農地に該当しないと説明がありました。

このことによりまして、当委員会としましては非農地として証明することといたします。

以上で報告事項を終わります。

事務局長 それでは、本日の日程については以上となります。これをもちまして、第4回定例農業委員会総会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

本議事録が真正であることを署名する。

署名委員 議 長

8 番

9 番